

# つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）11月26日（木）

発信元：つくば市 総務部 ワークライフバランス推進課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

公共サービス共創事業「つくばイノベーションスイッチ」

## クラウドシステムを利用した

## 「業務の見える化」による働き方改革

### 教員や市役所職員の業務を分単位で見える化することに成功



つくば市は、市職員の働き方を改善することを目的とし、株式会社リージットとともに、クラウドシステムを利用した「業務の見える化」の共同研究を実施しました。

本研究により、つくば市の小・中・義務教育学校教員および市民税課職員の業務内容を分単位で見える化することに成功し、長時間労働や業務の偏りを改善する前提として現状分析を行うための定量データを取得することができました。

#### 研究課題 タイトル

### クラウドシステムを用いた 「業務の見える化」による働き方改革

#### ●実施時期

令和元年（2019年）12月～令和2年（2020年）3月末

#### ●研究概要

クラウドシステム「Log+（ログタス）※」を導入して業務を見える化

※「Log+（ログタス）」に関する問合せは、株式会社リージットにお願いします。

株式会社リージット 担当：大野／電話：03-5357-1717 Email:info@leg-it.co.jp

#### ●研究成果

つくば市の小・中・義務教育学校教員および市民税課職員について、「Log+」を導入することで、過大な負担をかけることなく、その業務内容を分単位で見える化することができました。

その結果、教員については「事務・報告書作成」の業務時間が全体の約1割を占めていることや、十分な休憩時間の取得が難しいという状況が改めてわかりました。

また、市民税課職員については、1月～3月の繁忙期において、各係がどの時期にどの業務に時間を費やしたかといった業務傾向や、職員ごとの電話・窓口対応時間の偏りなど、今後のワークシェアに資する定量データを取得することができました。



#### 公共サービス共創事業（通称：つくばイノベーションスイッチ）

業務効率化につながるICT製品やサービスの創出につなげるため、つくば市が行政をフィールドに民間事業者等と共同研究を行う事業。

第1弾として、平成29年（2017年）に全国の自治体で初めてRPAによる業務自動化の共同研究を実施。

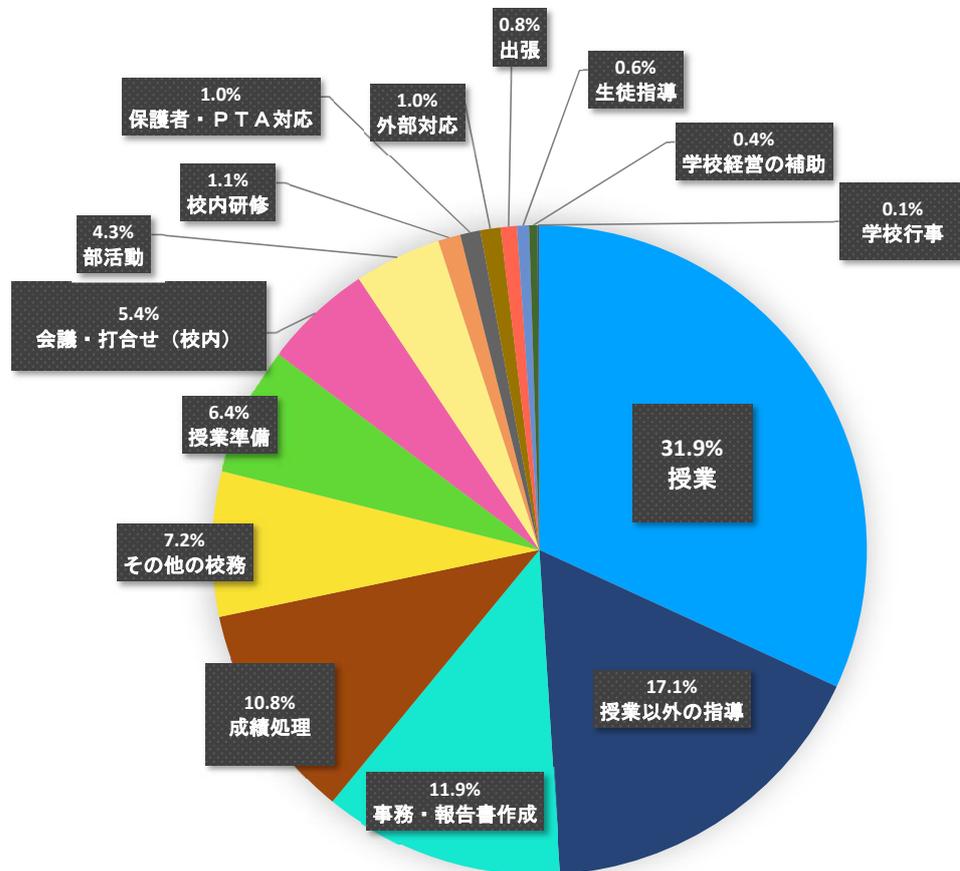


市HPはこちら

## 1 本研究による業務の見える化（報告書より抜粋）

### （1）小・中・義務教育学校教員

教員の業務を授業・生徒指導・部活動など大きく15種類に分類し、パソコンでクリック打刻することにより業務時間を記録しました。その結果、例えば、つくば市立春日学園義務教育学校の教員の業務時間の内訳について、次のようなデータが得られました（詳細データは報告書をご参照ください。）。



報告書はこちらから

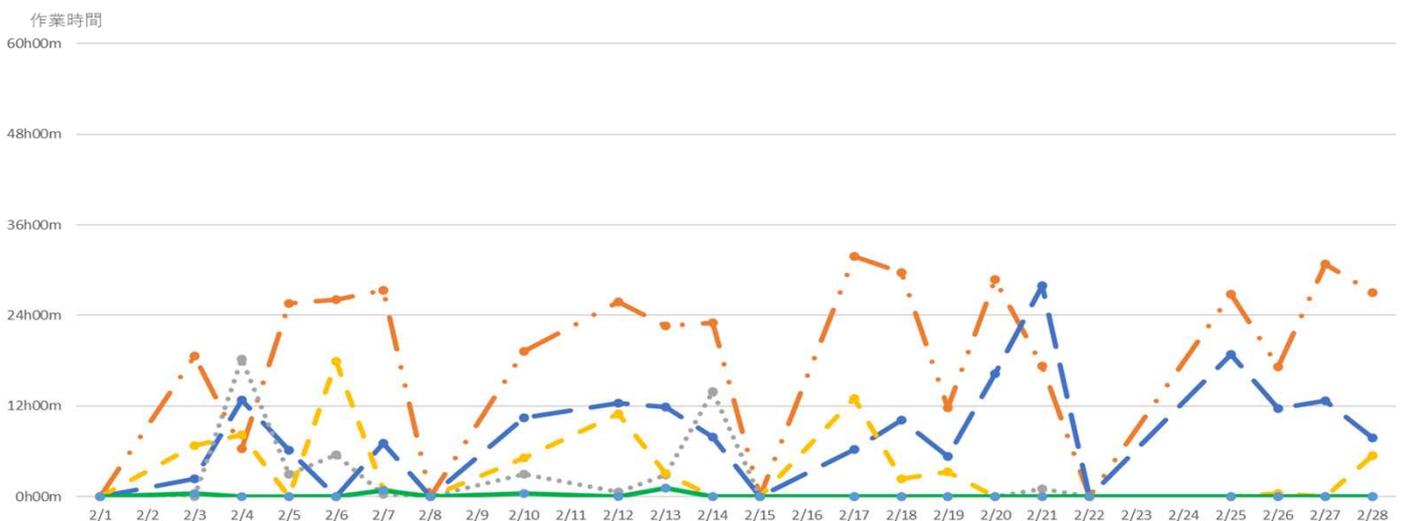


### （2）市民税課職員

市民税課に属する5つの係の業務を詳細に棚卸・分類し、タブレット端末でクリック打刻することにより業務時間を記録しました。その結果、係ごとの繁忙の差や、各係においてどの時期にどの業務に時間を費やしたかについて、次のようなデータが得られました（詳細データは報告書をご参照ください。）。

#### 【市民税第一係における主要5業務の作業時間の推移（一部抜粋）】

—●— H30年分申告相談
 —●— 当初賦課
 - - - ● - - - H30年分申告相談準備
 —●— 例月異動処理
 —●— 庶務

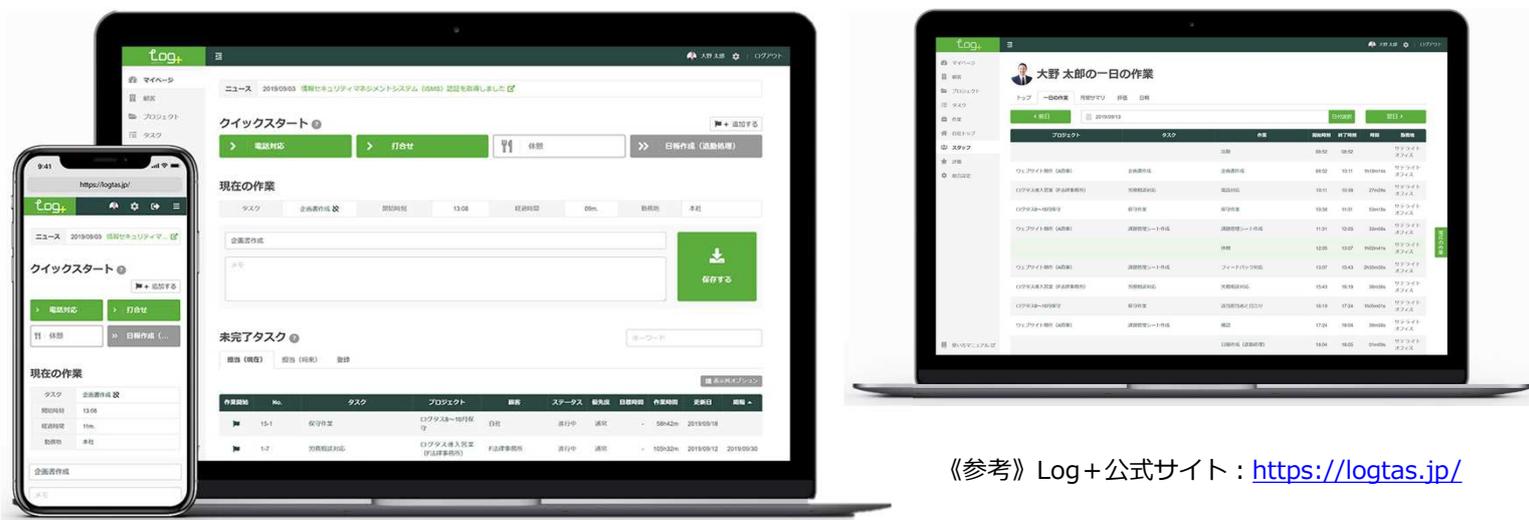


## 2 クラウドシステム「Log+（ログタス）」について

Log+は、業務管理と時間管理の機能を組み合わせることにより、次のような事項をリアルタイムに記録できるシステムです。

- 各職員が今日一日、どのような業務にどれくらいの時間を費やしたか
- 各業務について、月間や年間でどれくらいの時間を費やしたか
- 今現在、各職員がどのような業務を行っているか

業務にかかった時間を作業後に思い出して入力するのではなく、作業の前後にボタンをワンクリックするだけで正確な作業時間を簡単に計測できるため、職員の負担を最小限に抑えて「業務の見える化」が実現できます。



《参考》Log+公式サイト：<https://logtas.jp/>

※ 「Log+（ログタス）」に関する問合せは、株式会社リージットにお願いします。  
株式会社リージット 担当：大野／電話：03-5357-1717 Email:info@leg-it.co.jp